

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0240/250505/06/03	事業の種類	5	
年度	19	事務事業名	職業訓練助成事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	勤労者福祉対策事業		担当部課名	産業振興課		
政策名	にぎわいと活気のあるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	働く機会と環境					
根拠法規及び関連法規	市補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	建設労働者				
	誰(何)を対象として	建設労働者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	建設労働者の職業訓練のため				

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播建設高等技能学校・兵庫土建姫路建築技能専門学院への補助				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	西播建設高等技能学校	円	50,000	50,000	50,000	50,000
	兵庫土建姫路建築技能専門学院	円	50,000	50,000	50,000	50,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.010	0.010	100.0	0.010	100.0	0.010	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,047,368	799,614	76.3	826,595	103.4	783,692	94.8	
	事業費	100,000	100,000	100.0	100,000	100.0	100,000	100.0	
	合計	1,147,368	899,614	78.4	926,595	103.0	883,692	95.4	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,147,368	899,614	78.4	926,595	103.0	883,692	95.4	
	合計	1,147,368	899,614	78.4	926,595	103.0	883,692	95.4	

4 評価指標

【有効性】

指標名1	相生市在住・事業所勤務の生徒数								
指標説明(式)	生徒数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	2	4	200.0	2	50.0			
指標名2	実施母体である西播磨建設業協同組合・兵庫土建姫路建築技能協会の会員数								
指標説明(式)	会員数								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	700	700	100.0	700	100.0	700	100.0	
	実績	779	762	97.8	752	98.7			

【効率性】

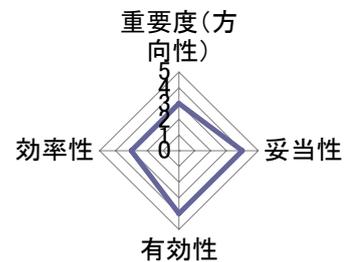
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	建設労働者の職業訓練のためであり、妥当である。	4	4
	市の関与の妥当性	建設労働者の職業訓練のためであり、妥当である。		
有効性	期待する目標	建設労働者の職業訓練のため、より効率的な事業を望む。	4	4
効率性	負担割合の適正化	姫路市・たつの市・赤穂市も補助を行っている。必要最小限の補助にとどめており、相生市民の利用者数・会員数などから負担割合の適正化を図っている。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	負担割合の適正化	相生市民の利用者数・会員数、近隣市の状況を踏まえ、引き続き適正な負担割合を維持する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	相生市民の利用者数・会員数、近隣市の状況を踏まえ、引き続き適正な負担割合を維持する。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

相生市民の利用者数・会員数、近隣市の状況を踏まえ、引き続き。適正な負担割合を維持する。

検討の有無	-
総合指標	19